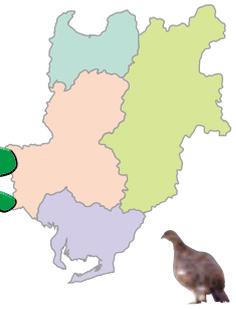




国民の森林・国有林

広報

# 中部の森林



中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5

☎050-3160-6513

<http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/>



長野県植樹祭でみどりの少年団と城土局長

## 春のそよ風に誘われて 各地で植樹祭を開催

(P2~3に関連記事)

主な項目	○ 各地で植樹祭を開催 .....	P2~3
	○ 第48回高山植物等保護対策協議会総会を開催 .....	P5~6
	○ 風景紀行 .....	P8

# 各地で植樹祭を開催

## 「ふるさとの森づくり県民の集い」 長野県植樹祭開催

**【指導普及課】** 五月十三日、長野県、中部森林管理局、東御市などが主催する、平成二十二年度ふるさとの森づくり県民の集い・第六十回長野県植樹祭が「つなげよう 未来のための 森づくり」をテーマに標高約一、八〇〇メートルの東御市湯の丸高原で開催されました。

当日は、みどりの少年団をはじめ、林業関係者、一般参加者など約一、四〇〇名が参加し、植樹会場である、湯の丸キャンプ場周辺の国有林、約二畝にアズマシヤクナゲ、ナナカマド、ミヤマガズミなど計二、〇〇〇本の苗木を植樹しました。

同時に、歩道の木材チップ敷ならしやトウヒの枝打ちなどの作業も行われ、



記念植樹をする城土局長

参加者は、木を植えるだけでなく、木を育てること、また森林の整備の大切さを実感していました。

## 「健康と癒しの森を」 「とやま森の祭典」

**【富山署】** 第十回とやま森の祭典が五月二十九日、上市町「ふるさと剣親（つるぎしん）自然公園で「木を植えて 地球も心も リフレッシュ」をテーマに、花とみどりの少年団員、農林漁業関係者ら約二、〇〇〇名が参加して行われました。

当日は、さわやかな初夏の風が吹くなか、主催者及び城土局長を含めた来賓者により、剣岳登山の基地である馬場島に自生するオオヤマザクラを花とみどりの少年団と一緒に植樹しました。

また、参加者は開催地の上市町が薬の町として知られていることから、コブシ（頭痛・蓄膿症）、ヤマハギ（婦人病）、ノリウツギ（疥癬）などの薬用樹を植樹し、植樹を通して豊かな森を次世代に繋げることを誓いました。

午後からの「森とのふれあいフェスティバル」では、公園内で森のミニコンサートなどが行われている中、当署のブースでは、森林クラフト教室やPR用のパネル展示を行いました。森林クラフトの看板は、臨時職員の子供さんに描いてもらった動物等の絵を使用して案内するなど、工夫を凝らしたパネルが好評を得て、クラフト作りに順番待ちができる



みどりの少年団と記念植樹をする城土局長

## 岐阜県みどりの祭り

など大盛況に終わることができました。

**【名古屋事務所】** 五月三十日、第三十九回岐阜県みどりの祭りが「源流の森からのメッセージ」をテーマに、源流・分水嶺の地郡上市高鷲町ひるがでで開催されました。

式典に先立ち、分水嶺公園内において、源流の森への魚の放流が子どもたちの手によって行われた後、みどりの少年団による開会宣言で式が始まり、主催者の古田岐阜県知事らの挨拶のあと、緑化功労者等の表彰があり、各関係団体の代表者や個人に表彰状が送られました。

次いで、アトラクション等が行われ、最後にみどりの少年団による「大会宣言」、その後、参加者全員による岐阜県民の歌を大合唱して式典を締めくくりました。

## 愛知県植樹祭

引き続き、全員で源流の森づくりとして、平成十八年に岐阜県下呂市で開催された「全国植樹祭」の際に天皇皇后陛下のお手播きになられた種から育った苗木を記念植樹するとともに、ひるがの高原スキー場内においても郷土樹種を植樹する郷土の森づくりが行われ、次回の開催地土岐市へ向けてバトンタッチがされ行事を終了しました。

**【名古屋事務所】** 五月十六日、愛知県植樹祭が「かなえよう 緑いっぱい 夢いっぱい」をテーマに、市政施行八十周年を迎えた瀬戸市蔵所町にある「瀬戸蔵」及び瀬戸万博記念公園「愛パーク」において開催されました。

式典は、瀬戸市長の開会のことばで始まり、主催者の神田愛知県知事らの挨拶のあと、緑化コンクール入賞校や功労者らの表彰があり、各関係団体の代表者に



記念植樹をする竹林所長

表彰状が送られました。  
その後、みどりの少年団の代表による「みどりの誓い」が述べられ、会場を万博記念公園に移し、名古屋事務所長ほか多数の参加者によって記念植樹が行われ、行事を終えました。

### 北信州植樹祭開催される

【北信署】本年度の北信州植樹祭が五月三十日、木島平村やまびこの丘公園において開催されました。

心配された天候も徐々に回復し、時折強い日射しが差し込む植樹日よりのなか、みどりの少年団、一般参加者、林業関係者など約四〇〇名の参加者は、レンゲツジ、ナナカマドほか四種類の苗木六三〇本の植樹を行いました。

この植樹祭は、北信州森林祭実行委員会（北信地区緑化推進委員会、地方事務所、森林管理署、当該市町村、森林組合等林業関係八団体）が主催し、地域における森林づくりと、うるおいのある郷土づくりを推進するため、森林・林業の大切さと森林整備の必要性を普及啓発するもので、北信地区六市町村の持ち回りで開催しています。

式典では、国土緑化、育樹、野鳥愛護の林業関係コンクール表彰が行われたほか、木島平村小学校三校のみどりの少年団代表による「先人が築いた緑豊かな森を次世代に継ぐための活動を行う」「互

いに助け合い緑を育てていく」「緑ある豊かな社会をつくる」の誓いの言葉の発表後、植樹作業が行われました。



植樹をするみどりの少年団

約一時間の作業後は、用意されたキノコ汁をいただきながら、地元鬼島太鼓の迫力ある響きを堪能し行事を終えました。

### 平成二十一年度

### 第一回署長等会議

【企画調整室】五月十九日～二十日、森林管理局において署長等会議が開催され、局長等会議（四月十六～十七日開催）関連の指示及び、本年度の業務運営に関する打合せが行われました。また、本会議には、林野庁から沖経営企画課長が出席されました。

全体会議では、城土局長及び竹林次長から

- ①事故・災害発生時の初動体制の確認、
- ②行政改革をめぐる状況、③農林水産省改革、④収入確保・予算執行、⑤適正かつ効率的な森林整備等、⑥会計検査院対応、⑦生物多様性の保全、⑧多様な森林整備、国民参加の森づくり、⑨労働安全確保等について訓辞が行われました。

引き続き林野庁沖経営企画課長から、国有林野事業改革と農林水産省改革について説明が行われました。

①国有林野事業の改革については、国民各層に国有林政策の重要性等の理解を得ること。森林・林業の課題に答え間伐の推進、低コスト化、国産材の活用や地域の活性化を牽引すること等の説明がされ、②農林水産省改革については、改革は職員、組織全体に課せられた課題と受け止め、内容を理解し、積極的に取り組むこと等についての説明がされました。引き続きその他関係業務について各部長

からの説示後、各署長等と意見交換が行われ、会議を終了しました。



署長会議の様子

### 長野県産材需要拡大要請活動

【販売課】中部森林管理局、長野県木材協同組合連合会、長野県森林組合連合会など七団体で構成する長野県産材振興対策協議会（会長・細川忠國）と長野県が合同で、六月に長野県下八十の市町村長、教育長を対象として、公立学校施設や公共施設などの整備に長野県産材の利用をお願いする要請活動を展開することとしました。

従来は、十月に実施していた要請活動を、平成二十四年度から中学校武道の必修化の完全実施に向けて武道場の整備が進められること、学校施設の老朽化や耐震補強等で大規模な改築工事が行われることなどから、五月二十九日に成立した平成二十一年度第一次補正予算の活用と次年度予算への反映を目的に、県下一斉に要請活動を行うこととしたものです。

この要請活動の第一陣として、六月五日に第一班から第四班に別れて要請活動を行いました。

このうち、第三班は森林整備部長をキャップに、長野県森林組合連合会滝澤常務理事、長野県木材協同組合連合会酒井専務理事、長野県信州の木振興課丸山係長の四名が、上田市、東御市、小諸市、佐久市、佐久穂町を訪問し、要望書、木材利用に関するパンフレットなどを手渡して、長野県産木材の利用をお願いしました。

また、小諸市では、芦澤市長、小山教育長、萩原経済部長に対し、要請活動を行い、小諸市としては、児童館等の公共施設に木材を利用して、今後、森林整備の観点からも、公共施設への木材の利用を検討することでした。

この模様は、新聞社の取材があり、報道されました。



芦澤小諸市長等に要望書を渡す桂川部長等

## 各地からのたより

### 平成二十一年度森林教室始まる

【岐阜署】岐阜署岐阜森林事務所では、五月十二日に岐阜農林高校において森林教室を開きました。五月二十日には、下



「スゴイー」と歓声上げる児童

呂市上原小学校において出前授業を開催しました。

下呂市上原小学校では「森林からの贈り物・森林浴」をテーマに授業を行い、最初「フイトンチッド」ってなに？から始まり、森林に入ること得られる森林浴の効能や、初めて聞く「フイトンチッド」の役割を知り森林の大切さ、必要性を感じていました。

このほかにも、森林管理署の業務内容の説明では、国有林の空中写真を実体鏡を使い見せたところ、山々が浮き上がって見えて「スゴイー」と感動したり、バードコールを作り、教室中を鳥の鳴き声（バードコールの音）で一杯にして楽しんでいました。

最後に、児童からは、森林の役割がよく分かった。これからも森林を大切にしていきたい。森林の役割が多くあることから何度も森林の話聞きたい。等の声が多く聞かれました。

岐阜署管内においては、五月から二月まで、各地で森林教室や体験林業が行われます。

### 「親子の森林体験教室」を開催

【指導普及課】五月三十日、長野市及び近隣市町村の小・中学生の親子を対象に、自然豊かな森に親しんでいただきながら、森林の素晴らしさや働き・役割について、親子が一緒になって学んでいただけでなくともに、国有林野事業の様々な取組をPRすることを目的に、「親子の森林体験教室」を、長野市の北信木材流通加工センター及び戸隠高原において開催し、八組、二十一名の親子・家族が参加しました。

長野市の北信木材流通加工センターでは、北信署管内の国有林材を扱っており、山から運び出された木材が市場に搬入されてから、家の柱等の建築用材になるまでの各作業の光景を見学し、それと



インタビューに答える子供達

同時に、長野朝日放送のニュース番組「abnステーション」の「子どもにきくニュース」の撮影が行われ体験教室に参加している子供達は、マイクを片手に緊張した面持ちでインタビューに答えていました。

また、新緑に包まれた戸隠高原では、キノコ（なめこ）の菌打ち作業の体験をしながら、タケノコやキノコ等の山菜や、国有林内の竹を利用した竹細工等、森林から得られる様々な恵みについて学びました。

### 葦毛湿原の植物観察と

#### 普門寺ルートの森林散策

〜生物多様性（森林と植物）〜

【名古屋事務所】五月三十日に、平成二十一年度「第二回森林ふれあい講座」を豊橋市の葦毛湿原で開催しました。多数の応募のなか、抽選により二十名が参加しました。

湿原の散策では、指導普及課の元鳥技術開発主任官のシラタマホシクサやモウ



説明に聞き入る参加者

センゴケなど湿原の植物の説明に、参加者は真剣に聞き入っていました。

その後、湿原から豊橋国有林内を通って普門寺までの四キロメートルのトレッキングを楽しみ、結構きついコースでしたが全員が完歩しました。

今回の講座は、来年名古屋市で開催される生物多様性条約第十回締約国会議「COP10」のパートナーシップ事業（COP10開催を盛り上げる関連事業）として位置づけ取り組んだものです。

今後とも、都市住民の方に気軽に自然とのふれあいを通じて、森林・林業への理解を深めて頂く場を提供していきたいと考えています。

## シリーズ 現場最前線

### 愛知森林管理事務所

#### 豊田森林事務所

豊田班は、隣接する尾張森林事務所を含め愛知県の西部に位置する尾張西三河流域の四市（岡崎・瀬戸・豊田・犬山市）に所在する国有林九団地を事業区域としています。

国有林の特徴として、市街地に囲まれた都市近郊林や地質がもろく崩壊しやすい洪積台地のため、九六割は土砂流出防備などの保安林に指定されており、



土のう積による横断排水修理

下流域に愛知県民の九割が生活する都市部があることから重要な水源地にもなっています。豪雨災害等を防止する森林の機能に地域住民の関心が高まるなか、適切な森林整備や治山事業等を行ってまいります。

班員二名（うち臨時一名）は毎日、森林官の指示のもとに打合せを行い、森林保全管理業務や境界管理、レクリエーションの森として必要な案内標識・注意看板等の整備、歩道修理や林道維持修繕作業を行っています。管理面積は少ないのですが作業地が広域に及ぶため高速道路を利用することが多く、通勤時は渋滞等による事故多発地帯を走行するため常に運転業務には十分注意を払うよう心掛けています。

これからの時期、熱中症や防蜂対策に十分注意を払い、愛知所と現場が遠距離にあるため連絡を綿密にとりつつ万全な体制で日々作業に臨んでいます。

## 第四十八回 高山植物等保護対策協議会 総会を開催

【国有林管理課】六月十五日、長野市内において、平成二十一年度「高山植物等保護対策協議会」（高植協）の総会が開催されました。

高植協は、長野県内の国有林並びに民有林における高山植物等の保護と地域内の美化を目的に、中部森林管理局、環境省、長野県の行政機関や報道、交通、教育、観光、山岳等の関係団体で構成されています。

総会には、長野県警察、長野県山岳協会、長野県自然保護連盟など三十名が出席し、野口長野自然環境事務所長の挨拶に続き、平成二十年度事業、会計の報告及び平成二十一年度事業計画、予算案を提案し審議しました。事務を努める当局からの事業報告では、平成二十年度の活動内容の報告、区域別の違反の内容や過去五年間の違反内容等はグラフ化を行い出席者やマスコミに解りやすい説明に努めました。

五地区の協議会からの報告では、平成二十年度の県内自然公園への入り込み者数は前年比一一五割の一六三〇万人でした。違反に対する指導件数は、高山植物無許可採取、摘み取り、踏み荒らし等、二、二二三件と昨年比九十六割で、採取・つみ取り・踏み荒らしが増加し、その他は微増及び減少していました。

十年前の平成十一年度と比較すると違反件数は七十割の減少と活動の成果が出ていることが伺われました。

近年、外国人登山者の増加に伴い、外国人登山者による植物の踏み荒らし、立入禁止区域への侵入等が増えており指導員も対応に苦慮しているとの報告もあり、今後は外国人登山者に対する効果的な保護啓発活動を実施していくことや南アルプスを始め各地においてニホンジカ、猿による食害が問題になっており、今後の課題として出されたのは、

- 一 植物の盗採、採取防止
- 二 踏み荒らし、立入禁止区域への侵入防止
- 三 ベット持込の自粛推進
- 四 ゴミの不法投棄防止
- 五 野生獣による高山植物の食害防止でした。

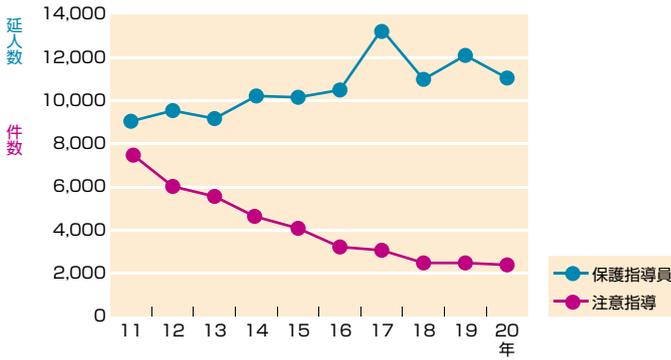
審議の中では、ニホンジカの食害への対応を求める意見が出されました。このニホンジカ対策については、各関係機関においてさまざまな対応策が検討されているとの説明がありました。

高植協の平成二十一年度の事業計画については、

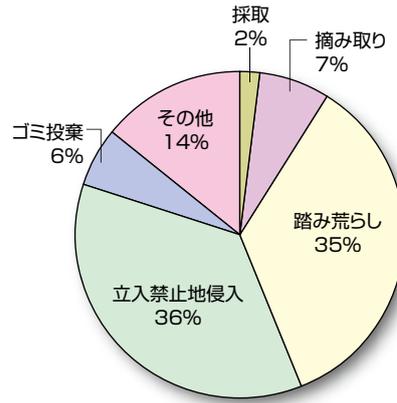
- 一 高山植物等の保護思想の高揚
- 二 高山帯へのベットの持ち込み自粛への指導
- 三 保護パトロール強化及び強化週間の実施

等为目标に、あらゆる機会や場所での積

過去10年間の指導件数

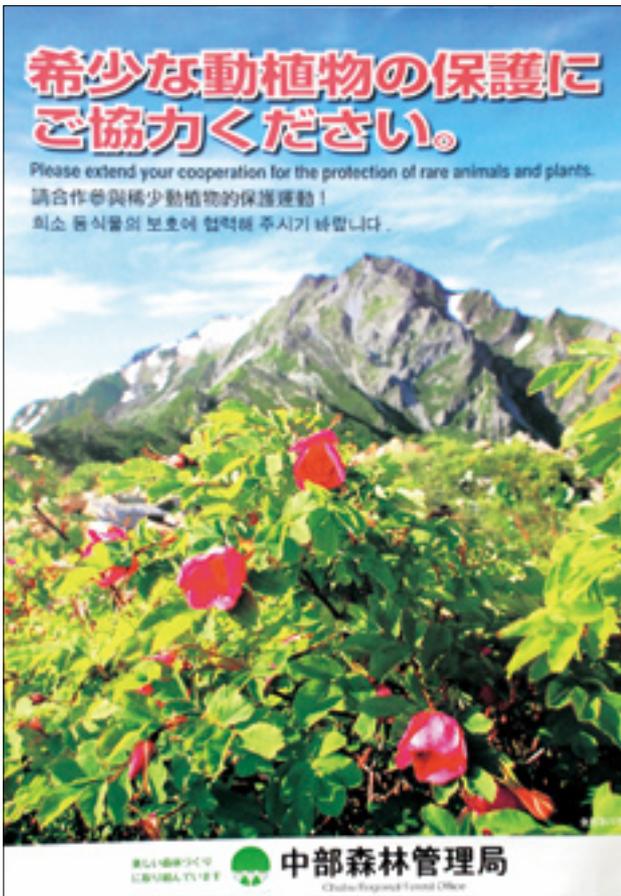


平成20年度違反状況



極的な保護活動を進めていくことが、承認されました。  
 また当日は、テレビ局や新聞社が取材に訪れ報道されたことから広域的な啓発が図られました。

平成21年度 高山植物啓発ポスター



4カ国語啓発パンフレット (中信署作成)



- 行事・会議等の予定**
- ◎ 全国安全週間 7月1～7日
  - ◎ 国観協総会 7月2日 長野市
  - ◎ 森林認証フォーラム 7月13日 名古屋市
  - ◎ 名古屋シティ・フォレスター事業 7月8・17・30日
- 富山・岐阜・木曽管管内



会議の様子 (カメラはNHK)

実験林・試験地等紹介



(7) 平成 21 年 6 月

「森林技術センター」木曾谷は、冷涼多雨な気候のため湿性ポドゾル化土壌が所々に分布し、造林木の生育が不良なところも多く見受けられます。そのため漸伐施業により森林形態を維持しつつ、劣悪な土壌、冷涼な気候環境への適応性の高い天然性稚樹を活用して更新を図ることとし、昭和四十八年に事業的規模でのヒノキ天然更新試験地を、長野県木曾郡上松町小川入国有林一五七い林小班に設定しました。

標高は、一、四七〇㍉、面積六・九〇㍉に、集材効率を重点に列状に母樹を配置した試験区（一号区、四号区）と、更新を主眼に母樹を均等に配置した試験区（二号区、三号区）及び作業を行わない対照区（五号区）を設定しました。

三十年余りに亘って試験が続けられ、平成十六年の調査では、母樹の配置方法別の双方において、ヒノキがヘクタール当たり一万本を超え、平均樹高はほぼ四㍉に達し、試験区別には著しい差異は現れていませんが、天然更新の成功例としての指標となっています。なお、伐採を行わない対照区については、比較的耐陰

性のあるヒバがヘクタール当たり一万本余り生育していることから、次代はヒバ林になると考えられ、ヒノキを更新させるためには光を取り入れるための受光伐が必要であることが分かりました。

ヒノキ天然更新の成功要因としては、①前生稚樹が多数存在した②天然更新の阻害要因であるササがなかった③厚い疎腐植層がなく緩傾斜地であり種子の定着が良好であった④母樹の適切な配置と母樹の長期間保残ができ、種子の供給が続いたことが考えられます。

平成16年度 調査結果

試験区		ヒノキ	ヒバ	ヒメコマツ	その他L	計(平均)
1号区	本数(本/ha)	16,200	1,300	0	1,400	18,900
	胸高直径(cm)	3.0	3.9		3.4	(3.4)
	樹高(m)	3.3	3.3		3.9	(3.5)
2号区	本数(本/ha)	15,300	1,900	300	500	18,000
	胸高直径(cm)	3.0	2.5	6.0	7.2	(4.7)
	樹高(m)	3.2	2.6	4.8	5.7	(4.1)
3号区	本数(本/ha)	9,600	100	500	1,200	11,400
	胸高直径(cm)	3.0	3.0	7.6	2.2	(4.0)
	樹高(m)	2.8	2.5	4.8	2.3	3.1
4号区	本数(本/ha)	3,200	6,500	300	1,400	11,400
	胸高直径(cm)	4.2	4.5	6.7	3.3	(4.7)
	樹高(m)	4.2	3.8	5.2	4.9	(4.5)
5号区	本数(本/ha)	3,400	11,300	0	700	15,400
	胸高直径(cm)	2.6	3.2		5.4	(3.7)
	樹高(m)	3.1	3.2		5.2	(3.8)
(平均)	本数(本/ha)	(9,540)	(4,220)	(220)	(1,040)	(15,020)
	胸高直径(cm)	(3.2)	(3.4)	(6.8)	(4.3)	(4.4)
	樹高(m)	(3.3)	(3.1)	(4.9)	(4.4)	(3.9)

試験地は、漸伐施業ですが試験の過程を観察できるよう更新完了後も、後伐を行わないこととしています。

今後、木曾ヒノキ林として成林するまで三〇〇年近くの期間が必要であり、試験期間は未だ一〇分の一に過ぎないことから試験を継続していくこととしています。

所在地：長野県木曾郡上松町  
小川入国有林一五七い林小班



保残木（母樹）と更新木（若木）



4号区の更新状況



**ビーナライン**

「東信署」通称「ビーナライン」は東信、南信、中信署にまたがって指定されている「八ヶ岳中信高原国定公園」の蓼科山から美ヶ原高原までの北半分を、標高一、六〇〇から二、〇〇〇以上の高原地帯を縫うように縦断できる全長七六キロメートルの自動車道です。

このビーナライン沿いには、宿泊施設が集中している「白樺湖高原」があり、夏はハングライダー、冬はスキーが楽しめます。「車山」では、グライダーの滑空が見られます。「霧ヶ峰」には、高層湿原の「八島が原湿原」そして、「美ヶ原高原」があります。

この美ヶ原高原は、台地状の地形であるため、周囲三六〇度が見渡せ穂高連峰から八ヶ岳、浅間山まで眺望できます。

また、約三〇〇鈔の牧場が放牧共用林野として美ヶ原牧場畜産組合が利用しています。ほかには野外美術館、宿泊施設

もあります。

ビーナライン沿いは、草刈場であったため、ほとんどが原野で、六月中旬頃にはレンゲツツジ、七月中旬頃にはニッコウキスゲ、八月はヤナギラン・マツムシソウ・ワレモコウなどの高山植物が一面に見渡せる光景は感動もので、四季を通じて気軽に楽しむことができます。

近年、この原野にニホンジカが群れで植物を食べに来ており、特に美ヶ原牧場には、百頭以上の群れが夕方現れ、人間が近づくと息を吐き威嚇してきます。このため、今年度から「野生鳥獣との共存に向けた生息環境等整備モデル事業」により県・地元市町と連携して調査・対策を行うこととしています。

**アクセス**

◇自動車により、一例として中央道諏訪インターチェンジより五分、上信越道佐久インターチェンジより六十分ですが、松本市、茅野市、立科町、上田市、長和町とどこからでもアクセスできます。



美ヶ原高原美術館の野外展示物



群生しているヤナギラン



ニホンジカが現れる美ヶ原牧場